

県境をまたぐ広域的なサイクリングイベントの実施（松野町）

【取組概要】

四万十川流域という特性を生かし、自転車で走るからこそ味わえる感動の世界を楽しむことのできる機会を創出する。

- ・四万十・南予縦断2RIVER VIEW(予土県境地域連携実行委員会)に参加し県境をまたぐ風景と地元グルメを楽しむサイクリングイベントを振興する。
- ・JR予土線のサイクルトレインを活用した「四万十サイクリングの休日」を企画し、走行距離に応じた愛媛～高知間の名所や食を堪能できるツアープランを提供する。
- ・自転車とカメラを利用して行うオリエンテーリング「スカベンジャーハント」を開催し、宝探しの要素と地域住民との交流を含んだ自転車の新たな楽しみ方を提案し、開催による地元商店への波及効果を目指す。
- ・宇和島・四万十県域9カ所の道の駅で、自転車修理等に対応できるサイクルオアシス機能の確立に向け「県境がNICE！プロジェクトサイクリング環境向上事業」を行い自転車修理の講習会や必要器具の整備を行い良好なサイクリング環境を構築する基礎づくりを図った。

人口 4,211 人

担当部署 森の国創生課
事業実施期間 26年7月～26年11月
取組事例のURL



自転車で地域を巡る参加者
(スカベンジャーハント)

【取組のポイント(特徴・先進性・特色など)】 【今後の構想や、他団体との連携の可能性】

【取り組みのポイント】

四万十川流域という比較的勾配の少ない地形はサイクリングに適し、しかも絶景・名所を数多く有している。これをツアー化し気軽に長距離ライドを楽しむ機会を創出し、ゆっくりと走る自転車時間の中で多くの人に四万十地域を楽しんでもらう。

【今後の展開】

すでに連携している予土両県及び流域市町、道の駅、JR四国等の各団体とのネットワークをさらに深めつつ、より魅力的なツアープランやイベントづくりを行い自転車の聖地をめざしその魅力を全国へ発信していく。



自転車修理の講習会
(県境がNICE！プロジェクトサイクリング環境向上事業)